

授業科目	*助産管理実習				実務家教員担当科目	○					
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	通年				
担当教員	杉浦 絹子										
授業概要	助産師の実践活動を通して助産管理の実際を学ぶ。 助産師としての職業的アイデンティティを養う。										
授業形態	実習			授業方法	実習						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	実習要項参照  1. 助産業務管理の実際を説明できる。 2. 助産業務に必要な法令とその運用について説明できる。 3. 災害および異常事態発生時の助産管理における緊急対応の実際を説明できる。 4. 地域の周産期医療体制と連携方法を説明できる。 5. 地域における助産活動の実際を説明できる。 6. 助産師としての職業的アイデンティティの基礎が形成できる。										
理想的レベル	標準的レベルの1～6を達成したうえで、助産管理に関連する今後の展望を述べる事ができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合 (数値)			備考						
試験											
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物		60%									
その他		40%			実習への積極的な参加姿勢						
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	MI31404J
学習課題 (予習・復習)										1回の学習目安 (時間)	
予習復習：オリエンテーション内容に関する復習および課題の実施										1	
授業計画											
第1回	実習オリエンテーション、実習準備、臨地実習、実習のまとめ										
テキスト	我部山キヨ子他編：助産学講座 9 地域母子保健・国際母子保健，医学書院 我部山キヨ子他編：助産学講座 10 助産管理，医学書院 福井トシ子編：助産業務要覧 基礎編 応用編 アドバンス編，日本看護協会出版会 日本助産師会：助産師業務ガイドライン										

参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜提示します。
課題に対するフィードバックの方法	実習終了後、まとめの発表会にて学びを共有します。
学生へのメッセージ・コメント	助産管理・地域母子保健及び妊産褥婦と新生児のアセスメントとケアに関する知識と技術を要する。基礎科目・専門科目・支援科目及びこれまでの実習で学習したことを復習して実習に臨んで下さい。 助産師の業務・役割を踏まえ、倫理的感応力を培うことを意識しつつ、主体的かつ能動的に実習指導者、教員に働きかけ、学びの多い実習となるように取り組みましょう。